



NPO法人

日本歯科放射線学会

第23回 臨床画像大会

および教育研修会

テーマ

画像診断の原点に戻る

会期

2018年 10月13日(土)・14日(日)

会場

ホテル東京ガーデンパレス
日本大学歯学部1号館 大講堂

大会長

本田 和也

日本大学歯学部歯科放射線学講座 教授

第23回臨床画像大会および教育研修会

ご挨拶



第23回臨床画像大会および教育研修会

大会長 **本田 和也** 日本大学歯学部
歯科放射線学講座 教授

今年は全国各地で大雨や竜巻等の災害により、大きな被害が発生しました。被災した方々に心から、お見舞いを申し上げます。また、平成最後の夏でもあり、各位にはそれぞれ思い出深い夏になったことと思います。今回の大会のテーマは「画像診断の原点に戻る」です。日本は超高齢社会を迎えて、オーラルフレイルの時代の到来となりましたが、我々画像診断医には遠隔診断等の新しい流れがくるのを感じています。私は、将来きっと歯科放射線科医の需要が増えると思っています。そのために画像診断の充実は必須であります。

このたびNPO 法人日本歯科放射線学会第23回臨床画像大会を10月12日(金)～14日(土)の3日間にわたり、1日目の大会会場と宴席が東京ガーデンパレス、2日目が日本大学1号館大講堂において開催させていただくこととなりました。会場が移動することで、ご不便をおかけしますが、費用の節約とご理解を頂ければありがたいと思います。篠田宏司前教授が臨床画像大会となる前の第14回X線診断研究会の世話人をされた1983年以来34年ぶりであり、医局員一同身の引き締まる思いで準備を進めてまいりました。お蔭さまで、多数の演題をご応募いただき誠にありがとうございます。

本大会のランチョンセミナー講演者には、オスロ大学口腔放射線学講座のAnne Møystad 教授をお招きして「CBCT pitfalls」の題目で講演をお願いいたしました。また、特別講演にはオスロ大学口腔外科学講座 Tore Bjørnland 教授に「Arthropathy of the Temporomandibular Joint: Classification, examination and treatment」の題目で講演をお願いいたしました。両先生ともに、私とは古い友人であり、日本にも多くの歯科放射線科医や顎関節症の専門医に友人が多い方です。今回の来日も、古い友人たちと会えるのを楽しみにしています。

ところで、臨床画像大会は第18回大会より主に若手や初学者の会員の研修を目的とした教育研修会を併催し、会員のレベルアップに努めています。本大会でも、2日目に「正しい鑑別診断に導くための画像所見から伝わる情報とは」というテーマで教育研修会Ⅰ～Ⅲをおこないます。また、本年度からは、専門医等の更新に対応して教育研修会Ⅳのテーマとして「放射線腫瘍学概論」を三浦雅彦先生をお願いいたしました。従前よりは、講演時間が午後になるため、ランチョンセミナーも浅海理事長のおかげで入れることができました。ご協力に本当に感謝しています。

それぞれ専門の先生方にわかりやすいご講演をお願いしてあります。是非、ご参加いただき、実力を向上してください。

ご 案 内

理事会・各種委員会

「理事会」

1) 常任理事会

日 時：平成30年10月12日(金) 11:40～13:40(昼食含)

会 場：日本大学歯学部 4号館 5F 大会議室

2) 理事会

日 時：平成30年10月12日(金) 13:50～15:20

会 場：日本大学歯学部 4号館 5F 大会議室

3) 理事懇親会

日 時：平成30年10月12日(金) 18:30～の予定

会 場：日本大学歯学部 4号館 5F 大会議室

「各種委員会」

1) 委員会1

日 時：平成30年10月12日(金) 9:50～10:20

会 場：日本大学歯学部 4号館 5F 大会議室

2) 委員会2

日 時：平成30年10月12日(金) 10:30～11:30

会 場：日本大学歯学部 4号館 5F 大会議室

3) 委員会3

日 時：平成30年10月12日(金) 10:30～11:00

会 場：日本大学歯学部 1号館 1F 第1会議室

4) 委員会4

日 時：平成30年10月12日(金) 11:00～11:30

会 場：日本大学歯学部 1号館 1F 第1会議室

研究会

歯科遠隔画像診断研究会

日 時：平成30年10月12日(金) 15:30～17:00

会 場：日本大学歯学部 1号館 4F 大講堂

Oral Medicine and IVR 研究会

日 時：平成30年10月12日(金) 17:10～18:20

会 場：日本大学歯学部 1号館 4F 大講堂

第23回臨床画像大会

日 時：平成30年10月13日(土) 9:05～18:50

会 場：ホテルガーデンパレス 2F 『高千穂』

日 時：平成30年10月14日(日) 9:30～14:35

会 場：日本大学歯学部 1号館 4F 大講堂

1) 受付

- 1日目 ホテルガーデンパレス 2F 受付にて8時30分より開始いたします。2日目は日本大学歯学部1号館 1F の受付にて8時50分から開始いたします。
- 事前登録をされている方は、「事前登録受付」にてネームホルダー、Film reading 解答用紙をお受け取りください。
- 当日登録を希望される方は、「当日受付」で申し込みを済ませ、参加証、ネームホルダー、Film reading 解答用紙をお受け取りください。当日参加費は12,000円です。また当日懇親会参加費は12,000円です。ネームプレートに参加印が付いている人は懇親会参加者となります。
- 手荷物預かり用のクロークは、ホテルガーデンパレス(1日目)では、ホテル専用のクロークを使用してください(午後9時まで)。日本大学歯学部(2日目)では、1号館 5F 第12講堂内にクロークを用意してありますので、午前8時50分から午後3時までご利用できます。
- 抄録集を紛失した方や当日必要な方は、受付にて一冊3,000円にて販売いたします。
- 当日懇親会に参加希望の方に関しては、会場受付もしくは宴会場の受付にて承ります。費用は12,000円となります。
- Film reading 用の解答用紙は、午後4時30分までに、所属、氏名、解答名(診断名)、臨床経験年数を書いて、症例掲示付近の Box 内に入れてください。発表は懇親会時になります。

2) 発表者へのご案内

- 発表は口述のみとなります。
- 1演題につき、発表時間7分、質疑応答3分となります。
発表時間厳守での進行にご協力いただきますようお願い致します。
- 発表開始後、6分で1回、7分で2回、10分で1回チャイムを鳴らします。
- 発表はPC(Windows機)による液晶プロジェクタでの単写投影のみとなります。発表時は壇上お手元のキーボードとマウスで操作してください。
スライドはMicrosoft PowerPoint 97-2003以降の形式(.ppt、.pptx)で作動するファイルをご用意ください。外字フォントは使用しないようお願い致します。
- ファイルはUSBメモリに保存して、当日ご持参の上、発表1時間前までにPC受付にご提出ください。また事前に動作確認のためPC受付で試写をしてください。
- 発表時刻の10分前までに会場に入り、次演者席で御待機ください。
- **Film reading に関して** 今回は、事前に指名されている先生には、当方からPower point形式で画像を送ってありますので、午後4:30~5:00にスライド受付にて試写の準備をしてください。ただし、スライドに変更がない場合は、こちらにて事前に渡したスライドの準備をしておきます。解答発表時間は1演題7分以内となりますので宜しくお願いします。

3) 座長の先生へのご案内

- 1演題あたりの割当て時間は10分となります。厳守して進行をお願いいたします。発表時間は1演題7分です。発表開始後、6分で1回、7分で2回、10分で1回チャイムを鳴らします。
- 担当セッション開始時刻の10分前までに会場に入り、次座長席で御待機ください。

企業展示

日 時：平成30年10月13日(土) 9:00～20:30まで2Fのロビーと牡丹の間で1日のみで行います。懇親会終了30分前まで観覧できます。

会 場：ホテルガーデンパレス 2階 牡丹の間

懇親会

日 時：平成30年10月13日(土) 19:00～21:00

会 場：ホテルガーデンパレス 2階 天空の間
〒113-0034 東京都文京区湯島1-7-5 TEL：03-3813-6211

休憩所

企業展示の牡丹の間にドリンクコーナーをご用意しています。ご自由にご利用ください。

その他

連絡事項もしくは問い合わせについては、総合受付にて承ります。

会場アクセス図

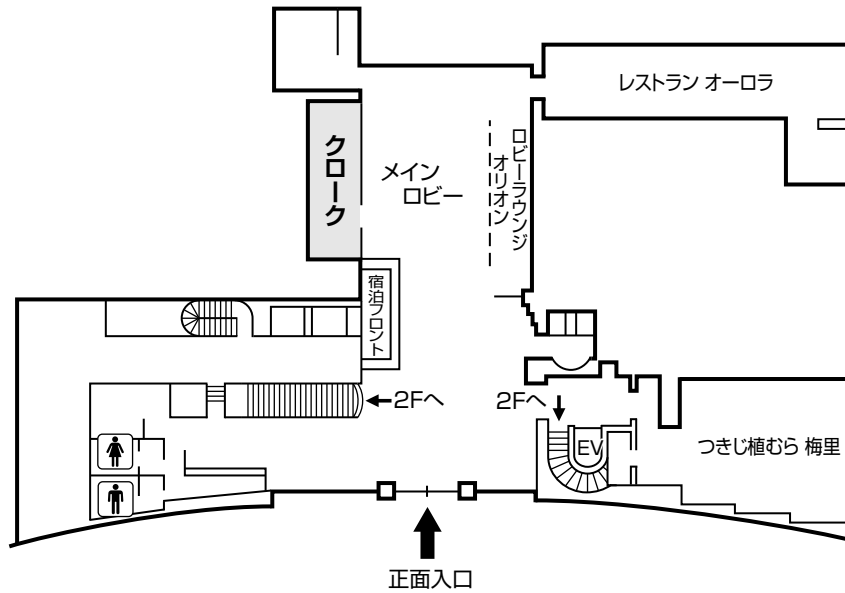


● JR中央・総武線、東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より 徒歩2~5分

学会会場 案内図

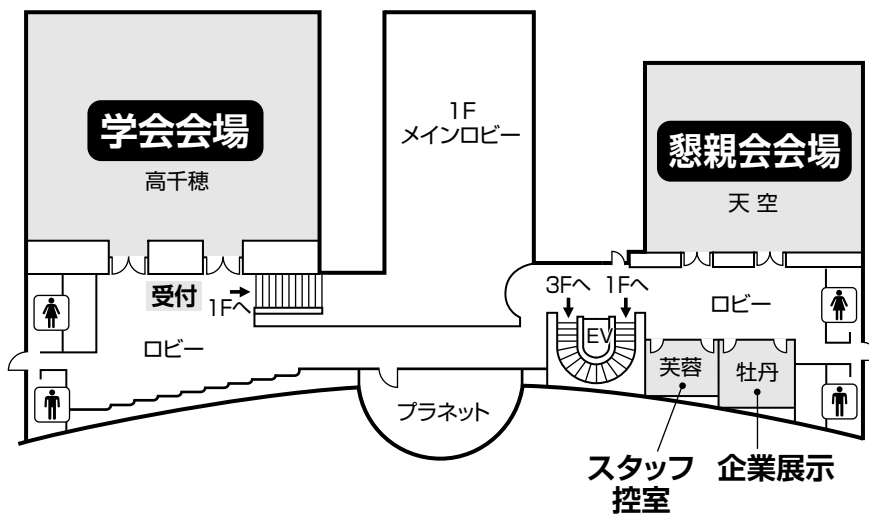
ホテル東京
ガーデンパレス

1F



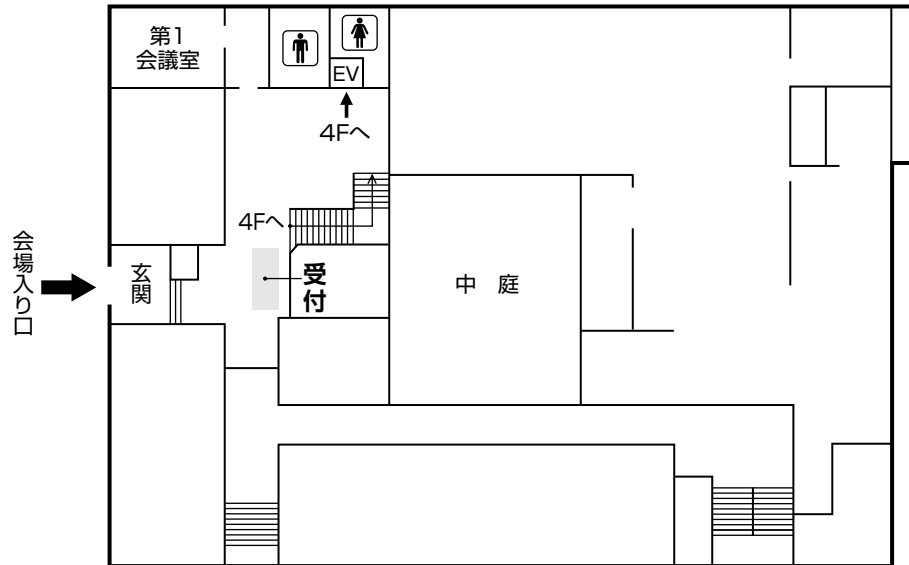
ホテル東京
ガーデンパレス

2F

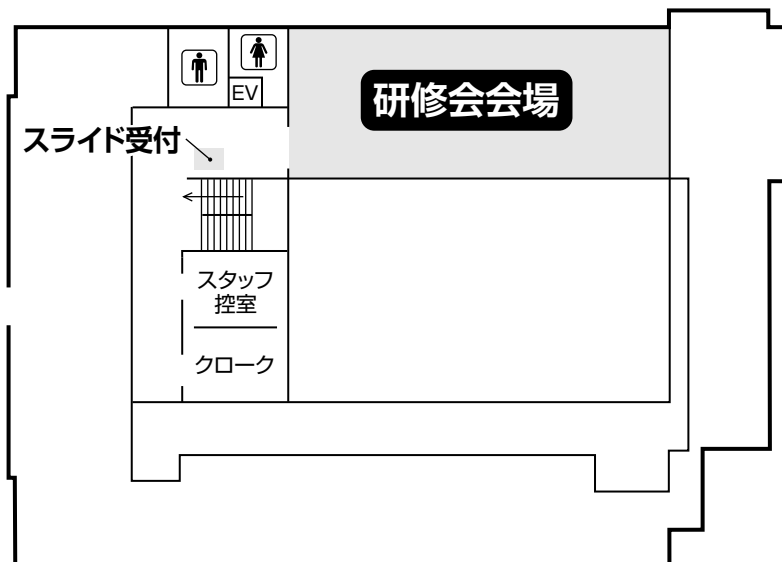


研修会会場 案内図

日本大学 **1F** 歯学部1号館



日本大学 **4F** 歯学部1号館



10月12日 金			10月13日 土	10月14日 日
4号館 5F 大会議室	1号館 1F 第1会議室	1号館 4F 大講堂	ホテルガーデンパレス 2F 『高千穂』	日本大学歯学部 1号館 4F 大講堂
8:50			8:50~8:55 開会の挨拶 8:55~9:00 会場説明	
9:00			9:05~9:55 一般講演 I 01 - 05 座長：柿本 直也	9:20~9:25 大会長 開会挨拶 9:25~9:30 準備委員長施設説明 9:30~10:20 教育研修会 I デンタル・パノラマ像から病変 診断の戦略はどこまで必要か 荒木 正夫
10:00	9:50~10:20 委員会1		9:55~10:45 一般講演 II 06 - 10 座長：音成 実佳	
11:00	10:30~11:30 委員会2	10:30~11:00 委員会3 11:00~11:30 委員会4	11:05~11:55 一般講演 III 11 - 15 座長：有地 淑子	10:35~11:25 教育研修会 II 正しい画像診断に導くための CT 所見から伝わる情報とは 木村 幸紀
12:00	11:40~13:40 常任理事会		12:15~13:10 ランチョンセミナー・教育講演 CBCT diagnostic pitfalls Anne Møystad 協賛：株式会社NOBORI	11:40~12:30 教育研修会 III 基本から学ぶ顎口腔領域 の MRI 診断 金田 隆
13:00			13:20~14:20 特別講演 Arthropathy of the temporomandibular joint: classification examination and treatment Tore Børnland	12:45~13:35 ランチョンセミナー Writing a clinical manuscript that has impact Ayli Chong 協賛：エダズグループジャパン株式会社
14:00	13:50~15:20 理事会		14:25~15:15 一般講演 IV 16 - 20 座長：松本 邦史	13:45~14:35 教育研修会 IV 放射線腫瘍学概論 三浦 雅彦
15:00			15:30~16:20 一般講演 V 21 - 25 座長：角 美佐	14:35~14:40 大会長 閉会の挨拶
16:00		15:30~17:00 歯科遠隔画像 診断研究会	16:25~17:25 一般講演 VI 26 - 31 座長：岩田 洋	
17:00		17:10~18:20	17:30~18:50 フィルムリーディング	
18:00				
19:00	18:30~ 理事懇親会	第11回 Oral Medicine and IVR 研究会	19:00~21:00 懇親会 会場：2F 『天空の間』	

プログラム

会場：ホテルガーデンパレス 2F 『高千穂』

10月13日(土)

8:50～8:55 **開会の挨拶** 大会長 本田 和也(日本大学歯学部 歯科放射線学講座)

8:55～9:00 **会場説明** 準備委員長 荒木 正夫(日本大学歯学部 歯科放射線学講座)

9:05～9:55 **一般講演Ⅰ**

座長：柿本 直也(広島大学大学院医歯薬保険学研究所 歯科放射線学研究室)

01 右側下顎角部にみられた透過性病変に関する考察

林 悠介 日本大学 歯学部 歯科放射線学講座

02 頭頸部転移性リンパ節の N3b 診断症例

齋藤 圭輔 日本歯科大学附属病院 歯科放射線・口腔病理診断科

03 CT, 18F-FDG-PET/CT, 18F-FAMT-PET/CT を用いた顎放線菌症に対する画像診断的スクリーニング

鈴木 啓佑 群馬大学大学院 医学系研究科 口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座

04 歯科インプラント体周囲の骨構造の評価におけるCTでの逐次近似再構成法の有用性について

高村 真貴 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

05 顎関節症患者のMRIによる長期観察所見

四井 資隆 大阪歯科大学 歯科放射線学講座

9:55～10:45 **一般講演Ⅱ**

座長：音成 実佳(東京歯科大学 歯科放射線学講座)

06 過剰埋伏歯の導帯管の特殊性

小田 昌史 九州歯科大学 歯科放射線学分野

07 石灰化の少ない顎関節滑膜性軟骨腫症のCT所見

西山 雅子 愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座

08 炎症性筋線維芽細胞性腫瘍(IMT)3症例の画像所見

白石 朋子 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 画像診断学分野

09 上顎歯肉癌における原発巣とリンパ節転移の関連

辻本 友美 大阪大学大学院 歯学研究科 歯科放射線学教室

10 下顎孔付近に発生した歯原性角化嚢胞の1例

香西 雄介 神奈川歯科大学 大学院歯学研究科 顎顔面病態診断治療学講座

10:45~11:05 Coffee break time

11:05~11:55 一般講演Ⅲ

座長：有地 淑子(愛知学院大学 歯学部 放射線学講座)

11 下顎骨に発生した二次型エナメル上皮癌症例の画像診断

眞嶋 みなみ 大阪大学 大学院歯学研究科 歯科放射線学教室

12 顎骨病変の画像所見に関する検討

福井 達真 朝日大学 歯学部 歯科放射線学分野

13 下顎第3大臼歯に発生するセメント質増殖症の頻度に関する研究

大林 尚人 東京医科歯科大学大学院 口腔放射線医学分野

14 明細胞性歯原性癌の1例

松本 邦史 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

15 根尖性歯周炎由来の瘻孔と診断された頬粘膜憩室様病変の1例

飯久保 正弘 東北大学大学院 歯学研究科 口腔診断学分野

12:15~13:10 ランチョンセミナー・教育講演

共催：株式会社 NOBORI

座長：四井 資隆(大阪歯科大学 歯科放射線学講座)

CBCT diagnostic pitfalls

Anne Møystad Professor, Department of Maxillofacial Radiology,
Institute of Clinical Dentistry, University of Oslo, Norway

Arthropathy of the temporomandibular joint : classification, examination and treatment

Tore Bjørnland Professor, University of Oslo, Norway

16 パノラマ X 線画像にて翼口蓋窩に認められた神経鞘腫の 1 例

小滝 真也 大阪歯科大学 歯学部 歯科放射線学講座

17 顎関節に生じたピロリン酸カルシウム結晶沈着症の 2 例

藤田 麻里子 岡山大学病院 歯科総合診断室

18 頬部に発生した骨脂肪腫の画像所見

橋本 麻利江 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 画像診断学分野

19 顎関節部に発生した嚢胞性腫瘍に関する考察

出澤 幸 日本大学 歯学部 歯科放射線学講座

20 ムコ多糖症Ⅲ型の病期による嚙下動態変化の 1 例

長崎 信一 広島大学大学院 医歯薬保健学研究所 歯科放射線学研究室

21 半導体検出器を搭載した新 PET 装置による舌がん原発腫瘍の検出能の検討

小嶋 郁穂 東北大学大学院 歯学研究科 口腔診断学分野

22 術前 FDG-PET/CT を用いた周術期口腔機能管理患者における 口腔有害事象発症リスクに関する検討：パイロットスタディー

金 舞 群馬大学大学院医学系研究科口腔顎顔面外科学講座・形成外科学講座

23 パノラマ X 線画像における Deep learning system による上顎洞炎の診断

有地 淑子 愛知学院大学 歯学部 歯科放射線学講座

24 CBCT 検査時のパノラミック画像有無による過剰歯、先天欠如歯の検出について

原 慶宜 日本大学松戸歯学部 放射線学講座

25 埋伏智歯歯冠周囲に生じた放線菌症の2例

永山 知宏 鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

16:25~17:25

一般講演 VI

座長：岩田 洋（日本歯科大学 歯科放射線・口腔病理診断科）

26 CTで鼻口蓋管に空気が存在した1例

大蔵 眞太郎 鶴見大学 歯学部 口腔顎顔面放射線・画像診断学講座

27 Computer Aided Extraction of Characters in Radiographic Images and their Application in Diagnosis, Treatment Planning and Follow Up - A Pilot Study

Revan Kumar Joshi Department of Oral Medicine & Radiology, D A P M R V Dental College and Hospital, J P Nagar 1st Phase, Bangalore, 560078, India

28 歯科放射線科における口内法撮影枚数とパノラマ撮影件数の年次推移

吉原 穂積 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯科放射線学分野

29 歯学部が設置された国立大学病院のCT検査状況

吉原 穂積 徳島大学大学院 医歯薬学研究部 歯科放射線学分野

30 小唾液腺の口腔内超音波画像解剖アトラス策定に向けた試み

曾我 麻里恵 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 顎顔面放射線学分野

31 頬部に発生した周辺性歯原性角化嚢胞の一例

中山 英二 北海道医療大学 歯学部 生体機能・病態学系 歯科放射線学分野

17:30~18:50

フィルムリーディング

19:00~21:00

懇親会(2F『天空の間』)

会場：日本大学歯学部1号館 4階 大講堂

10月14日(日)

9:20～9:25 **大会長 開会挨拶** 大会長 本田 和也(日本大学歯学部 歯科放射線学講座)

9:25～9:30 **準備委員長 施設説明** 準備委員長 荒木 正夫(日本大学歯学部 歯科放射線学講座)

9:30～10:20 **教育研修会 I**

座長：林 孝文(新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面病態診断治療学講座)

デンタル・パノラマ像から病変診断の戦略はどこまで必要か

荒木 正夫 日本大学歯学部 歯科放射線学講座

10:35～11:25 **教育研修会 II**

座長：林 孝文(新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面病態診断治療学講座)

正しい画像診断に導くための CT 所見から伝わる情報とは

木村 幸紀 昭和大学歯学部 口腔病態診断科学講座 歯科放射線医学部門

11:40～12:30 **教育研修会 III**

座長：林 孝文(新潟大学医歯学総合研究科 顎顔面病態診断治療学講座)

基本から学ぶ顎口腔領域の MRI 診断

金田 隆 日本大学松戸歯学部 放射線学講座 教授

12:45～13:35 **ランチョンセミナー**

共催：エダンズ グループ ジャパン株式会社

座長：浅海 淳一(岡山大学歯学部大学院医歯薬学総合研究科 歯科放射線分野)

Writing a clinical manuscript that has impact

Ayli Chong, BHIthSci Editor and Project Coordinator at Edanz Group Japan KK

放射線腫瘍学概論

三浦 雅彦 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 口腔放射線腫瘍学分野

招待講演
抄録

Arthropathy of the temporomandibular joint: classification, examination and treatment

Tore Bjørnland

Professor, University of Oslo, Norway

This presentation will focus on TMJ disease; classification, examination and subsequent treatment. Several suggestions for diagnostic classification and treatment algorithms have been proposed without reaching a gold standard. A universally accepted diagnostic classification is essential for achieving research results that are reproducible, comparable, relevant and applicable in the clinical setting. It is also the basis for therapeutic decision-making and a prerequisite for prognostic evaluation. Often problems of the TMJ are viewed as mere symptoms or as a syndrome-like group of conditions, without clear demarcation, impeding individualised treatment planning.

The aim of this presentation is to provide a view of pain and functional impairment of the TMJ joint through a standardized patient evaluation and suggestion of disease-focused diagnostic classification.



Curriculum Vitae

Dep Oral Surgery and Oral Medicine, University of Oslo, Research fellow (1985-1988)

Dep Oral Surgery and Oral Medicine, University of Oslo, Associate professor (1988-1999)

Staff surgeon, Norwegian National Hospital (Rikshospitalet) 1988-2008. (Responsible for Orthognatic surgery and TMJ surgery and post-graduate training in oral surgery)

Guest researcher, Harvard University and Massachusetts General Hospital appointment, (2006-2007)

Appointed Professor and Head of Department of Oral Surgery and Oral Medicine, Faculty of Odontology, Malmö University, Sweden and staff Oral and Maxillofacial Surgeon, Lund University, Sweden, (2011, January-2012 June)

Professor and Head, Department of Oral Surgery and Oral Medicine; University of Oslo, (2000-2006, 2009-to this day)

Awards

2006 Award of excellent research. Norwegian Dental Association

2014 Norwegian award for excellence and longstanding service

一 般 口 演
抄 録

右側下顎角部にみられた透過性病変に関する考察

Consideration for radiolucent lesion on the right angular site in the mandible

○林 悠介¹⁾、伊藤 源大¹⁾、荒木 正夫¹⁾²⁾、新井 嘉則¹⁾²⁾、本田 和也¹⁾²⁾

1) 日本大学 歯学部 歯科放射線学講座、2) 日本大学 歯学部 総合歯学研究所 高度先端医療研究部門

○Yusuke Hayashi¹⁾, Motohiro Ito¹⁾, Masao Araki¹⁾²⁾, Yoshinori Arai¹⁾²⁾, Kazuya Honda¹⁾²⁾

1) Department of Oral and Maxillofacial Radiology, Nihon University School of Dentistry

2) Division of Advanced Dental Treatment, Dental Research Center, Nihon University School of Dentistry

【初めに】顎骨には歯が存在し、そのため歯原性而非歯原性の病変が発生する。顎骨中心性に発生したものが大きく進行すると、周囲に存在する歯根や皮質骨に大きな影響を与えることも考えられる。今回は右側下顎角付近の歯根周囲に発生した病変が、患者の既往と一致した部分でもあり、症例の画像を振り返り考察を行ったので報告した。

【症例】患者は26歳の女性で、左側の下顎過剰歯の抜歯を希望して来院した。初診時のパノラマ X線写真で右側の下顎骨に不均一な不透過像が存在したため、患者と相談し同部の精査を行うこととなり、治療を進めた。患者の既往として、小学校時に急性腎炎の既往と顎変形症(骨格性下顎前突)のため5年前に某大学にてSSROを受けた。今回治療のために撮影したCT像では、右側第1大臼歯の根尖を含んで単房性の透過像を形成し、不規則な辺縁を認め皮質骨に侵襲像がみられた。生検の結果、単純性骨嚢胞と診断された。その後搔爬術を施行し現在は経過良好である。

【考察】単純性骨嚢胞で偽嚢胞と言われるものである。本症例では根尖を中心に不規則な辺縁と周囲骨内に入り込んだ所見から不透過像を有する多房様所見にもみられた。まれに、根尖付近の歯根膜腔から発生する異形成病変は、経時的に変化する病変として知られ骨空洞を形成するものがある。しかしながら、患者は5年前に顎変形症(骨格性下顎前突)のため下顎枝矢状分割法(SSRO)を受けた既往があることから、何か関連性があるものと考えている。

【まとめ】症例は、単純性骨嚢胞と診断されたが、根尖を中心に不規則な辺縁と周囲骨内に入り込んだ所見から不透過像を有する多房性所見にもみられた。これは、皮質骨の不規則な骨吸収所見が大きく影響したのと考えられた。

協賛一覧

寄付

株式会社 NOBORI
朝日レントゲン工業株式会社

展示企業(受付順)

株式会社フラット
オリンパステルモバイオマテリアル株式会社
株式会社リガク
株式会社 NOBORI
クロステック株式会社
株式会社モリタ

広告企業(受付順)

学研書院
シーメンスヘルスケア株式会社
株式会社フラット
ケアストリームヘルス株式会社
クロステック株式会社
株式会社 NOBORI
合同会社医知悟
株式会社モリタ
エダングループジャパン株式会社

ランチョンセミナー

株式会社 NOBORI
エダングループジャパン株式会社

NPO 法人 日本歯科放射線学会 第23回臨床画像大会および教育研修会の開催にあたり、上記の企業に御協賛を頂きました。主催者一同、心から感謝申し上げます。

NPO 法人日本歯科放射線学会
第23回臨床画像大会および教育研修会

大会長：本田 和也

準備事務局：日本大学歯学部 歯科放射線学講座内
準備委員長：荒木 正夫
〒101-8310 東京都神田駿河台1-8-13
TEL：03-3219-8084 FAX：03-3219-8354
E-mail：araki.masao@nihon-u.ac.jp

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://secand.jp/>

